

公益社団法人日本地球惑星科学連合
平成 29 年度第 1 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 29 年 5 月 2 日(火)
15 時 00 分から 18 時 00 分

2. 開催場所 東京大学理学部1号館 710 号室
(東京都文京区本郷 7-3-1)

3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 18 名 (定足数 11 名 会議成立)
出席監事 2 名
オブザーバー 8 名

4. 議長 理事 川幡 穂高

5. 出席役員

理事 川幡 穂高
理事 津田 敏隆 (Skype 出席)
理事 田近 英一
理事 中村 正人
理事 古村 孝志
理事 井出 哲
理事 ウォリス サイモン
理事 小口 高
理事 小口 千明
理事 奥村 晃史
理事 北 和之
理事 木村 学
理事 倉本 圭 (Skype 出席)
理事 中村 昭子 (Skype 出席)
理事 西 弘嗣
理事 浜野 洋三
理事 日比谷 紀之
理事 道林 克禎
監事 北里 洋
監事 鈴木 善和

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションボードメプレジデント 高橋 幸弘 (Skype 出席)

宇宙惑星科学セクションバイスプレジデント 関 華奈子

大気水圏科学バイスセクションプレジデント 杉田 倫明(Skype 出席)

地球人間圏科学セクションプレジデント 春山 成子

固体地球科学セクションプレジデント 大谷 栄治

固体地球科学セクションバイスプレジデント 田中 聡

学協会長会議 議長 坂本 尚義

大会準備 TF 末廣 潔

15 時 00 分、理事の定数に足る出席を確認後、会長川幡穂高は理事会が成立することを宣言し、第 1 回理事会を開始した。インターネット電話 Skype を利用し、遠隔地から参加する津田敏隆理事、倉本圭理事、中村昭子理事、高橋幸弘宇宙惑星科学セクションプレジデントが審議に参加できることを確認した。

【前回議事録確認】

第 7 回理事会議事録について、確認し、了承された。

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を承認した。

第 2 号議案 学協会長会議幹事会規則承認の件

学協会長会議幹事会規則を検討した。案のうち 3 条の「加盟学協会の意見を集約し」を「加盟学協会の意向を集約し」と改訂することで承認した。定款および法人運営基本規程は、社員総会での決定を要する一方、法人運営基本規則は理事会決議事項ではあるが、次回学協会長会議および社員総会にて報告し、了承を得ることとした。

第 3 号議案 総会議事および決算等の承認

総会議事および資料を検討した。社員構成の変更が執行されるのは次期代議員の任期開始日である平成 30 年 4 月 1 日からとする必要があるため、経過措置に関する付則を追記する。この文面については古村理事と鈴木弁護士に一任することが提案され、全会一致でこれを承認した。北理事より決算および予算案についての説明があり、これを社員総会に提出することを承認した。これらを含め、総会資料を承認した。

8. 報告事項

(1)川幡穂高代表理事職務報告

大会期間中に開催する Presidential Reception の準備状況について報告した。

「三宅賞」に関わる事務を連合が引き受ける件について検討状況を報告した。4 月 17 日に連合および地球化学研究協会の両事務局による会合において、問題点、スケジュール等を議論した。引き続き詳細を検討してゆくことで合意した。第 3 回理事会にて設けた連合側の WG に加え、地

球化学研究協会からの委員も含めて連絡会を日本地球惑星科学連合大会の後、開催する予定である。

(2) 田近英一理事(広報普及担当)職務報告

連合ホームページの障害について経過報告があった。復旧は困難で、重要な部分を優先的に手作業で一ページずつ公開している。現在閲覧できる部分も多いので、ホームページ上での「障害」の表示について検討していただきたい、とのお願いがあった。

大会時のハイライトについて報告があった。これまではコンビーナに選出を依頼していたが、今回は投稿者に直接自薦を募る方式で募集している。連合からハイライトとして選出するためには一定の科学的な正しさや公正さの保証が必要なため、これまで同様コンビーナ等の専門家の目を通す方式が良いという意見があった。

(3) 中村正人理事(顕彰担当)職務報告

顕彰関連の事業について活動報告があった。前回理事会で議論した規則の変更について西田フェローに経過報告をした。次回以降の理事会で規則の変更を審議する。

(4) 古村孝志理事(総務担当)職務報告

社員構成についての検討状況、社員総会、学協会長会議の準備等について報告があった。

(5) 北和之理事報告(財務担当)職務報告

昨日5月1日に監査を行い、適正であると認められた旨報告があった。

寄附金受け入れ状況について報告があった。

(6) 倉本圭理事(ジャーナル担当)職務報告

論文投稿・出版状況について報告があった。順調に投稿受付・出版を行っている。編集長会議についても報告があり、次世代テーマの論文の受け入れの検討について等が紹介された。また、2017年大会でのPEPS特別セッションでの招待者のリストが報告された。

(7) 浜野洋三理事(大会運営担当)職務報告

大会準備に関して報告があった。基調講演、式典、懇親会、Presidential Receptionなどのイベントの日程が紹介された。

ポスター発表のポスターサイズ等、発表に際しての重要事項の再度周知が必要であるとの意見があり、事務局が対応することとした。

2020年の会場について検討を行った。幕張メッセからも2020年も使用可能であるとの連絡があったので、幕張メッセとパシフィコ横浜を候補として検討している。5月中にはパシフィコ横浜と仮契約を行うことで合意した。

(8) 大会準備タスクフォース報告

大会準備に関して報告があった。引き続きAGUと連携して準備に取り組んでおり、3月23日にはテレビ会議での会議を行った。各担当同士をつないで準備作業に当たっている。

(9)グローバル委員会活動報告

グローバル委員会の活動報告があった。Joint Meetingでの国際交流の強化、またそれ以降 AOGSでの連携団体の会合などについて検討中であることが報告された。

(10)教育検討委員会活動報告

教育検討委員会の活動について報告があった。

教育課程小委員会の活動が紹介され、直近の会議の議事録が提出された。

大会開催期間中に開催する地学教育フォーラムの交流会、パブリックセッション「学校教育における地球惑星科学用語」の準備状況について報告があった。また、日本学術会議地学地理用語検討小委員会の活動について紹介があり、大会開催期間中に開催される会議に教育課程小委員会も参加する旨報告があった。

理事会審議にて承認された新「地学基礎」提言について、文部科学省への説明の日程を調整中であることが報告された。

地学教育研究集会を11月11日・12日に東京大学地震研にて開催する予定であることが報告された。

教育免許更新講習の受付について、教育検討委員会担当グループと連合事務局で受付方法を確定し、ホームページ上にて受付中であることが報告された。

(11)その他

木村学理事より日本学術会議の活動について報告があった。

軍事的安全保障研究について4月13日には「報告」が発出される等、議論が行われている。大会でもユニオンセッションが設けられる。また大学改革についても議論を行っており、大会時には学術会議主導で全国学科長専攻長会議が行われ、この問題を検討する。連合もこれらの問題の動向を把握する必要がある。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(18時00分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成29年5月2日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第1回理事会

出席理事 川幡 穂高 印

出席理事 津田 敏隆 印

出席理事 田近 英一 印

出席理事 中村 正人 印

出席理事	古村	孝志	印
出席理事	井出	哲	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	高	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	奥村	晃史	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	倉本	圭	印
出席理事	中村	昭子	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	道林	克禎	印
出席監事	北里	洋	印
出席監事	鈴木	善和	印